

響の杜 第15号

園長のつぶやき

―明るい未来のために―

今できること―

園長 渡部靖久

令和三年度がスタートしました。

皆様の温かいご支援のお陰で、大きな問題もなく開園して八年目を迎えました。心より感謝申し上げます。この春、事業を増やしたことで新たに一四名の新規採用者を迎えました。

内訳は大卒四名、大学院卒一名、短大卒六名、専門学校卒二名、社会人一名です。素敵な仲間が増えました。私たち同様、よろしくお願いいたします。

今、新しい爽やかな風が響の杜に吹き渡っています。

昨年、児童家庭支援センターと一時保護専用施設をやらせていただき、微力ではありますが、地域や社会的養護の必要な子どもたちのために、

専門のスタッフを中心に私達のできるすべてを出し切りました。

お陰で子どもたちの笑顔が見られるようになり、ほっとしています。

今年は千葉市児童相談所から委託を受け、夜間電話相談を行っています。初めての試みですが、スタッフ皆が

一生懸命取り組んでいます。また、お世話になった地域の小学校の校長先生が昨年退職され、響の杜に来てくれました。強い味方が一人増えました。一昨年からやっている適応指導教室（フリースクール）がさらに充実したものになると確信しています。

そして今年は新たに、「希望の杜」という自立援助ホームを富津市で始めました。

部屋の窓から海が見えるリゾート地で、心穏やかに自立に向けた一五人が社会に羽ばたけるお手伝いをしま

す。学生寮のような温かくて綺麗な自立援助ホームです。

スタッフはそれぞれの場所で悩みながら、時には涙し、そして最後には笑顔で、子どもたちやその家族のために、全力で少しでも役に立とうと自分の仕事に向き合っています。

これからも社会的養護が必要な子どもたちのために、前を向いて一步步進んで参ります。まだまだ未熟でとてもなく弱い私たちです。どうか勇気と力と、そしてご指導を頂けたらと思います。

皆様のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

今後とも末永くよろしくお願い致します。

自立援助ホーム 希望の杜 開設



ホーム長 丸 幸代

自立援助ホーム 希望の杜は、四月一日にオープンしました。

もともと、保養所だった場所を改修したため、建物は従来の援助ホームのように一軒家ではなく、保養所の名残のある外観となっています。海に近いため、波の音が聞こえ、二階のリビングからは海や天気の良い日には富士山も見えます。定員は、女子一五名。

家族からの支援が難しい義務教育終了から二

十歳まで(最長二十二歳)の方を対象とし、社会的養護施設他から社会に出ていく手前の『ステップハウス』となっています。

イメージとしては、福祉的な社員寮や学生寮。手作りのおいしい食事を食べ、健康的な生活を送りながら社会に出ていく準備ができるよう、スタッフ一同支援していききたいと思います。よろしくお願い致します。

最後になりましたが、準備の段階からたくさんの方々にご寄付を頂き、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。





新入職員紹介

今年度は十四名の職員が新しい仲間として響の杜学園に加わりました。

どのような経緯で入職したのか、これからどんなことに力を入れていきたいかを教えてもらいました。

児童家庭支援センター 子里

平田 政人

私は、この三月に小中学校教職員を定年退職いたしました。川戸地区では、約四年間お世話になりました。特に、響の杜学園の子ども達と学校だけではなく、地域のお祭りや行事でたくさん関わらせていただき、楽しい思い出が多く残っております。年齢的に子どもたちと元氣一杯に関われるか心配ですが、初心に戻り児童福祉

の勉強に取り組みたいと考えております。よろしくお願い致します。

心理士

下田 晴香

これまで様々な家庭環境で養育された子ども達と関わる機会が多く、子ども達が笑顔で過ごせるようそつと力添えできる伴走者のような存在になりたいと強く思うようになりました。入職してから、子ども達の笑顔に元気を貰う日々を送っております。微力ではありますが、子ども達が毎日を笑顔で楽しく過ごすことができるように全力でサポートして参りたいと思います。宜しくお願い致します。



男子寮 仁ホーム
秋永 優捺

私は高校を卒業後、子どもと関わる仕事がしたいと思い、千葉経済大学短期大学部の子どもの学科に入学しました。学生生活の中で、児童養護施設について知り、私は人の役に立つ人間になりたいと思い、こちらの施設に就職しました。

入職してから今日まで、子ども達の全力で物事に取り組む姿に圧倒されています。私も子ども達に負けないよう、日々の努力を惜しまず過ごしていこうと思います。

小林 千晃

私は中学生の頃から、保育士の祖母の影響で、子どもと関わる職に就きたいと考えていました。その後大学で子どもについて学び、実習先で響の杜学園に出会い、アルバイト経験などを経て



今に至ります。

入職してまだ日が浅いですが、子ども達との関わりや日々の中で様々な事を経験させていただいております。今後も子ども達と共に全力で取り組み、響の杜の一員として頑張ります。

笹谷 岬

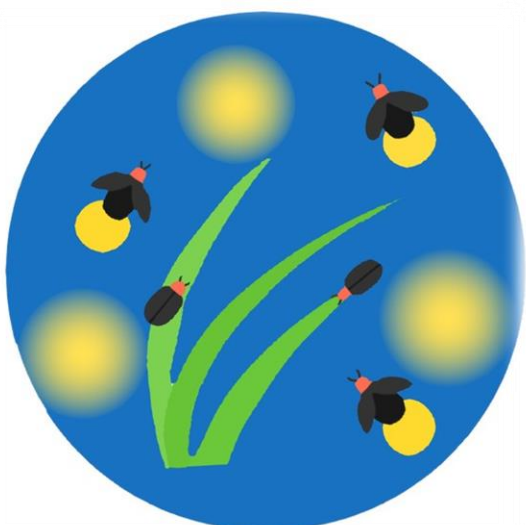
私は高校在学中に、授業で聞いた児童養護施設の話にとても惹かれ、専門学校に進学しました。専門学校の授業の一環で児童養護施設のボランティアをさせていただき、働きたい気持ちが強くなり、響の杜への就職を決めました。

入職してからは子ども達と共に野球やマラソン、空手に参加させて頂きました。今後も子ども達と共に日々の生活に全力で取り組み、私自身も一緒に成長していきたいと思っています。

志賀 日向子

私は幼い頃から、通っていた幼稚園の担任の先生が大好きで憧れており子どもと関わる職に就きたいと思い、短期大学に入学しました。そして大学の授業で響の杜学園を知りました。

入職してから本当に毎日が新鮮で貴重な体験です。マラソン大会やレク大会など沢山の行事がある事がとても楽しみです。これからも先生方に支えていただきながらも精一杯頑張りたいと思っています。



高橋 隼人

私は高校を卒業後、子どもと関わる職に就きたいと思い、専門学校に入学しました。

そこで学んだ知識や実習等を通して、児童養護施設の在り方を知り、就職したいと強く思うようになりました。

入職してからこれまで、見守って下さっている方々の思いを感じながら、日々の生活を共に歩んできました。今後もスポーツや行事などに全力で取り組み、成長していきたいと思っています。

女子寮 愛ほーむ
影山 尊

私は高校卒業後、子どもに関わる職業に就きたいと思い、聖徳大学の児童学科に入学いたしました。その中で児童福祉について学び実習を通して、児童養護施設に就職したいと思うようになりました。

入職してから、子ども達が全力で生活する姿に圧倒されています。そんな子どもたちに負けないくらい、私も全力で向き合っていきたいと思います。

佐々木 璃央

私は小学六年生からの夢であった保育士になる為、短期大学に入り、授業で児童養護施設について詳しく知りました。保育士は教育の部分だけではなく生活の部分も支える事が出来る事

を知り施設について興味を抱きました。響の杜では教育、生活のことはもちろん子ども達と全力で向き合い、自分自身の成長に繋がるように精進していきたいと思っています。

佐藤 彩花

私は、児童虐待相談対応件数が増え続ける一方、児童養護施設で保護されている子ども達は「約3%」という実情を知り、大変驚きました。そして、児童養護について学んだり、実習等の経験をしたりすることで支援を必要とする子どもたちの力に少しでもなりたいと思い、児童養護施設の就職を考えるようになりました。

これから子ども達と家族が笑顔で暮らせるよう日々努めてまいります。

池田 友瞳

私は、中学の職場体験の経験から保育士を目指しました。その後、大学での学びの中で、自立支援に興味を持ち、自立支援を原点としている響の杜学園に就職させていただきました。先輩方から学びながら、私も職員の一員として子ども達が働ける大人へと成長できるような支援をしていきたいと思っています。そして、自分自身も成長し、響の杜学園に貢献できるよう日々精進したいと思います。



地域小規模 ひまわりの家
田中 友梨

前職は、障害児支援に関わる仕事をして参りました。子ども達の一生懸命な姿や笑顔を見る度に仕事の楽しさややりがいを感じています。これまで学んできた事や経験を活かし、少しでも皆様のお力になれるよう努めて参ります。

入職してからこれまで、職員方や地域の方々の温かさや子供達のエネルギーを強く感じております。これから、日々の生活や行事を通して、共に成長できるよう頑張ります。

一時保護所 蒼空ホーム
佐藤 海徒

私は高校在学中、子どもに関わる職に就きたいと思い、専門学校に入学しました。入学後、児童養護施設の職員に興味を湧き、実習をして、職に就きたい気持ちが強まりました。

響の杜グループの子ども達や職員方の全力の姿勢に負けないう、私も全力で仕事をしたいと思っています。

自立援助ホーム 希望の杜
星野 まなみ

私は高校時代、「社会に出る一歩を踏み出しやすくなるよう子どもの手助けをしたい」という気持ちがあり、保育の道に進むことを決めました。その後、短期大学に入学をし、実習等の経験と知人からの話を聞き、夢を叶えたいと強く思いました。ホームでは子ども達の生活の質を

向上させることも大事ですが、スタッフとの交流も深めお互いが高めあえるよう成長していきたいと思っています。

石井 真琴

私は高校で調理師免許を取り、その後製菓の専門学校に入り、調理師として一度就職しました。調理だけでなく、違う職業に興味を抱いたとき、友人から児童養護施設や響の杜のことを聞き知りました。私が想像していた児童養護施設とは違い、明るくそして温かいところに惹かれ就職しました。

今後は調理師として子どもたちと関わりながら、子どもたちが安心して過ごせるホームや食事を作りたいです。

自立援助ホーム 未来の杜
佐藤 有香

私は大学で児童福祉の現状や課題を学び、児童福祉の分野で働きたいと思うようになりました。去年から非常勤として勤務しホームにも慣れ、子ども達とコミュニケーションをとり関係を築いてきました。正規職員になってからも子ども達の話の聞いたり、身の回りの環境を整え子ども達が安心・快適に暮らせるように取り組んでいます。

ようこそ響の杜学園へ！！





HPのご紹介

ともに育つ会のHPにて、響の杜学園の行事の様子やお知らせなどが掲載されています。

【千葉みらい響の杜学園とともに育つ会】と検索していただき、ぜひご覧になってください。

お礼



響の杜開園以来、たくさんの方々に来園して頂きました。また、数々の寄贈もあり心からお礼を申し上げます。皆様の温かい贈り物を身体と心で受け止め、子ども達は感謝の気持ちを忘れる事なく日々生活しております。

本来ならば、お名前を掲載してお礼申し上げたいところですが、ご迷惑にならないよう差し控えさせていただきますことをご了承下さい。

編集後記

あじさいの花が少しずつ色づき始め、梅雨の気配を感じる時期となりました。まだまだ制限のある日々が続いています。

響の杜は開園から八年目を迎え、一四名の新しい職員が加わりました。事業も拡大し、職員も増え、響の杜グループは更に活気づき、エネルギーに満ち溢れています。これからも子ども達と共に、それぞれの場所で全力で生きていきます。広報誌ですが、職員の手作りにて作成しております。至らない箇所がありましたら、申し訳ございません。今後ともよろしくお願い致します。

千葉みらい響の杜学園 広報委員会

川名菜由乃・深山真由・荒井康之

田中友梨・佐藤彩花

響の杜 第15号

発行日:令和3年6月吉日

社会福法人 天祐会

千葉みらい響の杜学園

千葉県千葉市中央区

川戸町 92-1

TEL:043-310-6001

FAX:43-310-6002

Email:

hibiki@tenyuukai.jp

